

6年生 5月の様子

運動会前でも、べんきょうをがんばっています！



国語【雪は新しいエネルギー】

6年2組の国語の学習です。「雪は新しいエネルギー」という説明文を読み取ります。「雪の冷たいイメージ」と「エネルギーの熱いイメージ」と、子供たちが感じている全く思いを確認することから学習を始めました。

いくつかの事例を話し合う中で、「雪はものを冷やす」働きがあることから、「ものを冷やすこともエネルギーなのではないか」という考えが出てきました。

興味と意欲を大切に、説明文を読み取る学習を進めていきます。



社会【ともに生きる暮らしと政治】

6年1組は社会の学習を紹介します。「ともに生きる暮らしと政治」の学習です。提示されたネットニュースから内閣総理大臣や国務大臣について思い起こします。「内閣」「大臣」「省庁」など、聞いてはいるけれど詳しくは分からない言葉の確認から学習を始めました。

各省庁には国務大臣がいることやそれぞれの働きを調べ、自分たちの生活との関連に気付き始めています。

暮らしを通して、政治の仕組みや役割について学んでいきます。

そして、6年生全員が今、力を入れているのは、運動会に向けた南中ソーランです。

6年生は、「心を一つに」という思いで、練習に励んでいます。児童は「南中ソーランをミスなく踊れるように頑張ります。」「小学校で最後の運動会なので精一杯頑張りたいです！」と抱負を述べています。運動会での声援をお願いします。

【南中ソーラン誕生について】

平成5年、当時の稚内南中学校の生徒達は、なかなか一つになってがんばろうという気持ちが足りませんでした。そこで歌手の伊藤多喜雄さんがロック調の「TAKIO のソーラン節」をプロデュース。その曲に合わせたソーラン節が「南中ソーラン」と呼ばれるようになりました。

